

会 議 報 告 書

- 【会 議 名】 第2回 三朝町生涯学習推進プラン(仮称)策定委員会
【日 時】 令和6年8月20日(火)午後7時から午後8時35分まで
【場 所】 役場第2会議室
【出席者】 (1) 策定委員 11名
(2) 事務局 2名

【報告事項】

1 会議の成立

策定委員会設置要綱第6条第2項に基づき、委員の半数以上の出席(11名中11名の出席)を確認し、本会は成立。

2 会議内容

- (1) 委員長挨拶 ※議事録参照
- (2) 『社会教育・生涯学習に関する町民意識調査』結果について(報告)
・事務局から調査結果を報告
- (3) 『三朝町生涯学習推進プラン(仮称)』の策定方針について(協議)
・委員長から、グループワークによる意見交換(町民意識調査結果について)及びプランの柱となる項目やキーワードの抽出作業を行うことが説明された。
・全体協議…委員長の進行により各グループの協議結果を発表。

〔Aグループ意見〕

- ・キーワードは「欲」。
 - > 「生涯学習」という言葉が分かりづらい
 - > 意識せずにやっていることも学習になっている
 - > 幸福のために生きるために学ぶことが生涯学習
- ⇒ 「学習」という言葉のニュアンスが固い
 - 「どう生きたいか」「どういうふうになりたいか」という欲求やニーズを実現するプラン。
 - (より町民に届きやすい言葉で表現)
- ・健康に意識がある人が思った以上に多い。
- ・地域の状況が時代によって変化しており、現状として地域が(生涯学習の)受け皿になっていない。
 - ⇒ この状況の中、「繋がり」をどのようにみんなで力を合わせる方向に持っていけるか
- ・(生涯学習を地域で推進する)リーダーがいないことが課題。
 - ⇒ 参加者する側にとっても受け身ではなく、企画する側にもなってもらえるような仕掛け。
- ・子ども達が外で遊びにくくなっている(移動手段や集まれる場所が限られる)
 - ⇒ 子ども達の居場所がない

〔Bグループ意見〕

- ・キーワードは「遊び心」。
 - > 満足度を高める、参加した人が参加してよかったと思うような仕掛け
- ・現状としては高齢化社会に対応した生涯教育を考えなければならない
- ・学びへの誘い、学びのスタート支援が大事。
 - > (町民が)やりたいことをどんどん提案していくこと
 - > 参加しやすい仕組みづくり、参加したいと思う内容の提供
 - > 地域に目を向けていく
- ⇒ これら「学びの動機づけ」、「遊び心」、「楽しさ」が繋がっていくようなプラン

- ・地域協議会と教育委員会が連携して、公民館活動を支えていく体制づくり。
- ・三朝町だけではなく、町外の組織（大学等）との協働体制。
⇒学びの場は町内だけではない
- ・図書館や文化ホールなどが、居場所として求められているという調査結果を踏まえ、居場所として機能させるようなことも必要。

〔Cグループ意見〕

- ・キーワードは「巻き込みと仕掛け」。
 >約 20 年前も生涯学習機会の参加者は、60 歳以上が多かった。当時も若い人の参加はほぼ無い、少ないという状態。
 >ただし、当時の 60 代で中心となる人が、40～50 代も巻き込んで活動していた。そのため、当時巻き込まれた人が、現在 60～70 代になっているのではないかと推察する。
 >若者へのアプローチを考えると、以下に生涯学習機会に「巻き込み」、どのように「仕掛け」るか。

〔項目、キーワードの抽出〕

各グループの発表を受け抽出されたキーワード。

欲	遊び	ニーズ	興味	健康	つながり	巻き込み
体験	スポーツ	仕掛け	リーダー（養成）		ライフステージ	
子ども	若者	世代間交流	ボランティア		情報発信	
ハード（施設）		インターネット	町内・町外	町民	高齢化	
三朝の当たり前をもう一回見つめ直そう						

〔委員意見〕

- ・プランの冒頭は、現状の問題点を整理、掲載しなければならない。現状の問題点があつてこそ、新しい推進プランがある。
- ・「施設」について、居場所の問題もあるので、どういうハード（施設）が必要で、今の町内にあるハードでいいのか。
- ・ボランティアについて、アンケート結果を見たら、どんな（ボランティア活動の）内容があるか分かりにくかったり、1 回参加して辞めてしまった方もいるようだ。情報発信の仕方とか、やってみてよかったという満足感を高めていくような、仕掛けや仕組みが必要。
- ・三朝町は河川の一斉清掃など、以前から参加するのが「当たり前」という意識が高い。
 →当たり前すぎてあまり意識していないが、それを意識することで具体的になる？
 →「三朝の当たり前をもう一回見つめ直そう」と言うか、当たり前にやっているところに何かヒントがあるかもしれない。
- ・このプランは町内に限定することなく、町内外を含めた広がりのあるものを考えたい。
- ・インターネットは概念が広く、ネットリテラシーなのか PC リテラシーなのか、その方向性についても町民は何を求めているのかを整理しないと収拾がつかなくかも…。
 →それぞれのライフステージに対応したもの。

3 今後の予定

- ・本会議の意見を基に事務局で骨子案を作成。
 →項目立てや協議の叩き台となるような資料
- ・第 3 回目策定委員会は 9 月下旬から 10 月上旬開催を予定（目標）。

第2回 三朝町生涯学習推進プラン（仮称）策定委員会 議事録

日時：令和6年8月20日(火)
午後7時～午後8時35分
場所：三朝町役場 第2会議室

1 委員長あいさつ

いよいよ具体的な議論、協議を進めていく会になりました。

事前にご覧いただいたと思いますが、調査結果はいろいろ興味深い内容が出ています。それに加えて皆様の御経験や知見を加えていただければ、より三朝町の実態に即した計画づくりになるのではないかと期待しています。

本日はすごく大事な会だと考えていますのでよろしくお願いします。

2 議題（進行：委員長）

（1）『社会教育・生涯学習に関する町民意識調査』結果について（報告）

～事務局から調査結果を報告～

（2）『三朝町生涯学習推進プラン（仮称）』の策定方針について（協議）

委員長

ただ今の意識調査の結果を受けて、プランの方針を固める議論ができればと思います。

進め方については、3グループに分かれて意見交換、プランの柱となるアイデア出しをグループワークにより行っていききたいと思います。

調査結果についていろんなご意見があると思いますが、（策定委員の）皆さんがしっかりと意見を出し合う時間が必要だということを事務局とも相談しまして、今回はグループに分かれて意見交換を行うという形でやっていききたいと思います。

グループに分かれたときの意見交換としましては、自由に意見交換していただければいいんですけども、ぜひ、この結果について、具体的にこんな問題があるとか。（改善策として）こんな方法があるのではないかとか、みなさんの御経験等から意見を出していただきたいと思います。

各グループに進行役を設けて、キーワードとか重要な意見を模造紙に記録して、後ほど全体で共有したいと思います。

グループの協議は30～40分程度を考えています。少し短い時間ですが、ぜひいろんな意見を出していただきたいと思います。このいろんな意見をもとに、プランの柱となるような項目を、全体で共有して、抽出していききたいと思います。ですので、これは本当に重要なキーワード、課題じゃないとか、そういうことをぜひ話し合っただけで出していただけたらと思います。全体でのまとめは、主に私が進行します。

この今日の話し合いで出たアイデア出し項目に、プランの柱となるような項目を仮に作って、プランの初稿を作っていくという流れでいききたいと思います。

～グループワーク開始→45分後～

事務局

時間となりましたので各グループの検討結果をA→B→Cグループの順に発表してください。以降は委員長に進行を代わります。

Aグループ発表

Aグループではいろいろと意見や話が膨らんでいましたが、結局「生涯学習」という言葉が分かりづらかったり、意識せずにやっていることも学習になっているということ、幸福のために生きるために学ぶことが生涯学習になっているだろうという話から、「学習」という言葉が固いニュアン

スがあるので、それよりも「欲」だと…「欲を出すために」といったプランの方がいいんじゃないかという意見が出ました

他にも健康に意識がある人が思った以上に多いなんて話もありましたし、一方で地域がいろいろ変わってきている…集落が成り立ってないところもあったりするぐらいやはり地域が受け皿になってないんじゃないかっていうこともあって、繋がりをどう作るのか…繋がりをどういうふうにみんな力で合わせる方向に持っていけるんだろうかという話も出ていました。

ただその時に課題になるのは、リーダーがなかなかいないということだと。世話人の負担も大きくて、そういう意味では参加者にとっても、参加することが学習になるから、受け身ではなく、企画する側にもなってもらうようになればいいなという話も出ていました。

また、子どもたちが、なかなか外で遊ばない…それは移動手段が無かったり、集まれる場所が限定されている…居場所がない、という話も出てきました。

課題の部分も見えてきましたが、その中で「どう生きたいか」とか「どういうふうになりたいか」というそれらの「欲」をしっかりと意識するようなプランにできればなという話になりました。

B グループ発表

高齢者中心の回答で、現状としては高齢化社会に対応した生涯教育を考えないといけないのではないかということで、私たちのキーワードは「遊び心」。学びだけではなくて、この「遊び心」…満足度を高める、参加した人が参加してよかったと思うような。

「学びたい」、「機会があれば学びたい」って方は多いので、学びへの誘い、学びのスタート支援っていうようなところが大事じゃないかなと。やりたいことをどんどん提案していくことが大事、こういうことやって面白…これが遊び心ですけれど…参加しやすい仕組みづくり、参加したいと思う内容の提供といったようなこと、地域に目を向けていくようなことも話題になりました。

こういう学びの動機づけ、遊び心、楽しいよっていうことをしながら繋がっていくようなプランだったらいいなということです。

それらを支えるものとして体制のことも話題に出まして、前回の策定委員会でも話に出ていましたが、やはり公民館活動・教育の部分では地域協議会が教育委員会ともしっかり連携して、公民館活動を支えていくような、そういう体制づくり。

それから、三朝町だけではなくて、例えば大学とか、町外の組織とも協働していくような協働体制を作って、魅力あるプランにしていけたらといった意見が出ました。

また図書館とか文化ホールなどが、単なる図書館機能、文化機能だけではなくて、居場所として求められているということも分かりましたので、居場所として機能させるようなことも必要かなと。

子どもがどんどん少なくなって、年齢や考え方の違いもあるけれども、遊び心を大事にして「やってみよう」、「どんどんやってみようよ、繋がっていきましょうよ」っていうような、そういう学びができたかなというように話で大変盛り上がりしました。

C グループ発表

話し合いをしていて、キーワードが浮かんできました。

「巻き込みと仕掛け」ということで、今回のアンケート結果を踏まえて、回答は60～70代が多かったという実態があり、逆に10～20代は少ないということが見て取れます。

これを踏まえ、私が20数年前に、中央公民館に勤務し生涯学習に携わったときの感想を話させていただきました。当時、生涯学習機会に参加する方は、60歳以上の方が多かったように思います。今回のアンケートにもありましたが、若い人が参加していない…当時も若い人の参加はほぼ無い、少ないという状態がありました。なので、当時と今は多分常態的には変わらないんだろうと。ただ、当時の60代の中心となる人が、40～50代の方も巻き込んで活動されていらっしやっただので、それが20年、30年経つとどうなるかという、当時巻き込まれた人が、現在60代、70代の方になっているんだろうと。

この話を踏まえた上で、年齢が高い方っていうのは多分（生涯学習に）関心はあるというところ、逆に若者へのアプローチというのをを中心に考えた結果、「巻き込みと仕掛け」というキーワードが出てきました。

委員長

ここからはまとめとして、どんなことが項目になっていくかということを考えたいと思います。いろいろもっと話したい内容がいっぱいあるんですけど、とりあえず皆さんのつぶやきから拾って「欲」「遊び」「ニーズ」「興味」…みたいなのが近いようなキーワードとして挙がっていたかなと思います。

あと「つながり」というのが2グループから出てきたんですけど、さらに「巻き込む」という言い方をCグループがされていましたがそれもすごく良い表現だなと思いました。

あと「仕掛け」ですかね、仕掛けが大事ということで…個人的な「仕掛け」のところに「リーダー養成」とかも入れたんですけど。世話人とか、準備する企画する人、どういうふうにするのかなってというのがあるかと。

あと「子ども」たちとか「若者」、「世代間交流」というキーワードが挙がってたんですけど、子どもたちをいかに巻き込んでいくか、興味を持ってもらうかっていうところが、すごい課題ってことでしょうか。

他にキーワードはありますか。

委員

「健康」も大事なキーワードだと思います。

委員長

評価結果見たときに、三朝町には温泉もあるし、健康に焦点当てるのも大事かなと思いました。(関連して)「スポーツ」もそうですよね。

委員

「体験」も。

委員長

そうですね。「体験」もありましたね。

他にはいかがですか。

委員

プランの最初は、現状の問題点みたいなこともやっぱり載せないといけないですよ。

現状の問題点があつてこそ、新しい推進プランがあると。

委員長

現状の問題点もいろいろ指摘されてましたよね。地域が変わってきているということもありましたし、ボランティアが少ないとか…そういった課題も整理する必要がありますね。

委員

施設の問題はどうでしょうか、居場所の問題もあるでしょうし。どういうハードが必要なのか、今の町内にあるハードでいいのかどうか。寂れてしまって使われていないものもありますよね。

委員長

「学校(跡地)が荒れているのを見るのがつらい」という意見がありましたよね。

委員

ボランティアのことも時代の流れ的に(プランに盛り込んで)。)

小学生から大人まで、そういった雰囲気づくりについても大切だと思います。

副委員長

確かに今、中高生や大学生はボランティアというのを盛んに言ってますけど、本当は40代50代

60代も対象ですから。どうも今若者のボランティア活動に目がいてますけどね、本当は大人もボランティア出て欲しい。

委員長

仕組みづくりじゃないですけど、もう学校はボランティアさせろって感じになってはいるんですが、一方大人はそこまででもない。

委員

アンケート結果を見たら、**どんな（ボランティア活動の）内容があるかよく分かっていなかったり、1回参加してそれでもなかったからやめちゃったりしている**ので、その**発信の仕方**とか、やってみてよかったという**満足感を高めていくような、仕掛け、仕組みづくり**ですよ。

委員

全国的な調査では、**鳥取県はボランティア活動の参加率は上位**なんです。と言うのが、地域でゴミ拾いとかやってるじゃないですか。あれも基本的にはボランティアなんですけど、鳥取県民はそれが当たり前だと思ってるので、これがボランティア活動とは思わずに参加している。

田舎の人は地域とつながって当たり前だから、思っていた以上にボランティア率は高かったということを見たときに、なるほどなと思ったことがありました。

副委員長

でも**総事**というのは義務ですから、ボランティアじゃない。参加しなかったら罰金もありますからね。

委員

総事みたいなことは、都会だったらどこかの会社に頼んで自治体がやっているところもありますよね。

地域によって変わるとは思いますが情報提供として鳥取県のボランティア参加率は全国的に高いというデータがありましたということです。

委員長

今のお話で私が思ったのは「**当たり前**」という意識。**当たり前すぎてあまり意識してない。それを意識することで、もうちょっと具体的になるかも**みたいなのは…生涯学習は学習を意識していなくてもやっているものがあるよねという話も出ていましたが、ちょっとそれと関わるかなという気もしました。

「**三朝の当たり前をもう一回見つめ直そう**」と言うか、当たり前に行っているところに何かヒントとか種があるかもしれないみたいなところは大事にしたいですよ。

その他はいかがでしょうか。

委員

（このプランは）三朝町内のことしか考えないのか、町民のことを考えるのか。町内のことを考えたら調整で生涯学習みたいなものをまとめるのか、町民を考えたら、別に三朝町でやらなくてもできるじゃないかみたいなね。町外でやっているみたいなことがありますから。

町内だけでなく、町内外を含めた…県内でも全国でもいいじゃないですか、そういう広がりのあるものに考えた方がいいんじゃないかなと思います。

委員

ネット関係のことも、時代の流れかなと思うんですね。それについてもプランに記してもらえたらなと思います。

委員

高齢化社会である現状で、生涯学習として学ぶ機会を。

委員

インターネットも概念が広く、ネットリテラシーなのかPCリテラシーなのか、その方向性についても町民は何を求めているのかを整理しないと收拾がつかなくなるおそれがあるなと思いました。

委員長

全部ひっくるめてという感じですが、特にどこからスタートするかっていうのもありますし、あと個人的にはその世代間ギャップがすごいなと思いますので、世代ごとに何かやる必要があるのか、あるいは世代間交流的に何か仕掛けるのかということでも違ってくると思います。

情報活用、モラルやマナー…いろいろありますよね。

委員

年齢によって、形のあるアンケート項目もあったので、高齢化っていうことは1つ大きい前提にあるんですけど、その中でもライフステージそれぞれに対応したものが出ると良いのかなと思います。

委員長

他に意見はありますか。

(意見無し)

それでは次回の策定委員会でこれらの意見をしっかり肉付けしていきたいと思います。

3 その他(事務局)

本日いただいた意見を踏まえた上で、新しいプランの骨子を事務局で作成したいと思います。

それを踏まえた上で第3回目の委員会を開催させていただきたいと思います。開催予定時期ですが、9月下旬から10月上旬を目標に考えたいと思います。